

高校生や大学生と一緒に防災まちづくりを考えませんか 「水害リスクを踏まえた防災まちづくりに関する報告会」の開催

大洲市における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの推進と流域治水の自分事化を向上する目的として、令和5年度より地元高校生と東京大学学生のワークショップや地域住民の方々を対象とした検討状況の報告会を実施しています。

今年度は、「宇和地区・野村地区」におけるスタディーツアーや「東大洲地区・長浜地区」を対象としたワークショップを行いました。（【別紙1】参照）

そこで、行政と学生が取り組んでいる防災まちづくりの取組状況や水害リスク評価（案）について地域住民の方々と一緒に考える報告会を開催します。

記

■水害リスクを踏まえた防災まちづくりに関する報告会

1. 開催日時

令和8年3月14日（土） 13:00から16:00

2. 開催場所

大洲市役所 2階大ホール（大洲市大洲690番地の1）

3. 主な内容

詳細は【別紙2】をご参照ください。

《これまでの取組状況：大洲河川国道事務所HP》

<https://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kawa/bosaimachizukuri.html>

本施策は、四国圏域広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 大洲河川国道事務所 Tel: 0893-24-5188

副所長 高島 愛典 (内204)

●工務第一課長 小谷 精司 (内311)

●: 主な問い合わせ先

水災害リスクを踏まえた防災まちづくり

～若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲を未来へ～

主催：四国地方整備局 大洲河川国道事務所

取組概要

大洲市では、平成30年7月豪雨による甚大な被害を受け、国・県・市が一体となった「肱川緊急治水対策」を実施しており、令和6年5月末に堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したところですが、今後も気候変動の影響等により、水害のリスクは存在します。そこで、国土交通省大洲河川国道事務所では、大洲市や愛媛県、東京大学との連携により、『地域の防災意識の向上と水害リスクを踏まえた防災まちづくり』に関する取組を令和5年度より実施しています。

※この写真は、令和5年度実施した大洲高校・大洲農業高校との防災まち歩きの様子です。

実施内容

実施年月	地元高校生とともに進めてきた防災まちづくりのあゆみ
令和5年度	令和6年 2月 大洲市・肱川流域の中流地区にてスタディツアーを開催しました！ 東大洲地区のまちあるきや、被災体験談を聞いて、グループワークを行いました。
	令和6年 3月 地元住民へ向けた報告会を開催しました！ 地元高校生や東大生が主体となり、各関係者による取組紹介や、パネルディスカッションを行いました。
令和6年度	令和6年 11月 大洲市・肱川流域の上流地区にてスタディツアーを開催しました！ 鹿野川ダム見学などのまちあるきや、被災体験談を聞いて、グループワークを行いました。
	令和6年 12月 大洲市・肱川流域の下流地区にてスタディツアーを開催しました！
	令和7年 1月 長浜地区のまちづくり見学や、グループワークを行いました。
令和7年度	令和7年 3月 地元住民へ向けた報告会を開催しました！ 各関係者による取組紹介や、交流しながら学べるオープンハウス、パネルディスカッションを行いました。
	令和7年 10月 大洲市・若者から地元住民へ — 「これまで」をともに振り返るWSを開催！ 東大洲・長浜地区にてこれまでの取組紹介・座学を行います。
	令和7年 11月 大洲市から西予市へ、流域全体へと視野を広げたスタディツアーを開催！ 野村ダム・田んぼダムを見学、被災体験談を聞き、グループワークを行います。
	令和7年 12月 スタディツアーを通して、自分のまちを“自分ごと”として見つめ直すWSを開催！ これまでの活動を振り返りながら、まとめのワークショップを行います。
令和8年 3月 地元住民へ向けた報告会を開催！ オープンハウス・パネルディスカッションを通してこれまでの活動を報告します。	



水害リスクを踏まえた 防災まちづくり・報告会

～ 肱川流域の水害リスクを踏まえた防災まちづくり～

住民の皆様とともに防災まちづくりを定着・継続する目的として、“第3回防災まちづくり”の報告会を開催します。若い世代とともに『肱川流域の水害リスク』について、一緒に考えてみませんか？

この写真は、11月のスタディツアーで西市宇和町清沢地区の田んぼダムを見学した際の一場面です。上流域の工夫が肱川中流・下流域の安全につながっていることを、学生たちが現地で実感し、上流から下流までのつながりを自分事として理解できた瞬間を捉えています。

参加無料（先着100名）

2026年3月14日(土) 13:00～16:00
(開場 12:30)

大洲市役所
2階大ホール

プログラム

- 開会挨拶
- 肱川における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの取組説明
- 若い世代からの防災まちづくりの報告
- オープンハウス：肱川流域の関係者による取組紹介
- パネルディスカッション
- 閉会挨拶

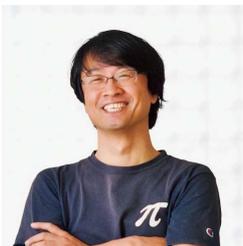
オープンハウスでは、
大学生・高校生ブース等、あります！
ぜひ気軽に立ち寄って、お話ししましょう！

コーディネーター

羽藤 英二 氏

プロフィール

1967年 愛媛県生まれ
東京大学大学院工学系研究科 教授
愛媛大学助教授、MIT 客員研究員、UC サンタバーバラ
客員教授を経て現職。交通工学研究会研究奨励賞、世
界交通学会賞など数々の賞を受賞。各地のまちづくりや
地域防災に関する研究を手がけている。
「未来都市東京 2050」として都市戦略を提示するなど、
世界的に注目を集める都市工学研究者のひとり。



パネルディスカッション

～みんなで肱川流域の水害リスクについて考えてみませんか？～

若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲を未来へ

■コーディネーター／羽藤 英二 東京大学大学院工学系研究科教授

■パネリスト／大洲河川国道事務所

愛媛県
大洲市
東京大学学生
大洲高等学校生徒
大洲農業高等学校生徒
長浜高等学校生徒

パネルディスカッションでは、
国・県・市の若手職員達、
そして大学生、高校生が集まり、
「肱川流域の未来と防災まちづくり」を
語り合います！ぜひ皆様の意見を
お聞かせください！

主催 四国地方整備局 大洲河川国道事務所

共催 東京大学 工学部社会基盤学科、大洲市、愛媛県

つながる肱川

国土交通省



流域治水

水害リスクを踏まえた防災まちづくり・報告会

～ 肱川流域の水害リスクを踏まえた防災まちづくり～

申込み方法

申込締切
3月9日(月)

参加をご希望の方は、右のQRコードを読み取るか、下記メールアドレスまでお申込みください。

E-mail skr-oozuka40@mlit.go.jp

下記 URL から登録できます。

<https://forms.gle/CTUs8vuSL3RinEi6A>



参加申込フォームはこちら

登録項目

- ①お名前
- ②電話番号（任意）
- ③メールアドレス
- ④ご所属（自治会等）

会場

定員100名（先着順）

大洲市役所 2階大ホール

〒795-8601 大洲市大洲 690 番地の1

※ご来場の際は、市役所立体駐車場をご利用ください。

※当日は報道が入ります。ご参加の方の声や姿が映る可能性もありますことを、あらかじめご了承ください。



昨年実施した第2回報告会の様子

お問合せ

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 工務第一課（小谷、立花）
〒795-8512 大洲市中村210 TEL：0893-24-5185